

## 8 オオハクチョウ

(カモ目)

兵庫県ランク:B

*Cygnus cygnus*

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

### 種の概要

北海道、本州北部では冬鳥。本州南西部、四国、九州でも冬期に記録されるところがある。兵庫県では主に10-翌2月に記録がある。内湾、湖沼、河川、水田などに生息し、水生植物の根茎や田の落ちモミなどを採食する。穀物やパンくずなどの人為的な給餌を行っているところが多い。



写真提供:松重和太

### 国内分布

北海道、南千島、本州北部、本州中・南西部、佐渡、粟島、隠岐、四国、九州、対馬、五島列島、伊豆諸島、小笠原群島、琉球諸島

### 県内分布 ( )表記の市町では2002年以前に生息確認

(姫路市)、明石市、(洲本市)、(伊丹市)、豊岡市、(加古川市)、小野市、加西市、(養父市)、南あわじ市、(加東市)、(稲美町)、(香美町)



### 主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

### 県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

まれな冬鳥であるが、主に但馬地域と播磨地域に渡来し、近年は少数ながらほぼ毎年記録されている。その多くは、コハクチョウの群れに混じって行動していることが多い。



写真提供:三谷康則

### 保護上の留意点

水草が生育する湖沼や河川の保全、人が四方を取り囲めない集団ねぐらの確保が重要。現在の水辺環境下では、人為的な保護がないと生息し難いところはあるが、過度な給餌は自然分布の障害となる。